

キャラクター名
アーダルベルト・ベル・バルボ=□ベロ

プレイヤー名

シンドローム	バロール ウロボロス	ワークス	FHセルリーダールA	カヴァー	騎士
オプション		年齢	36	性別	男
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	41 %
出自	名家の生まれ	経験	力の暴走	邂逅	欲望：保持

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	55
肉体	1	1	0	1		3	行動値	10
感覚	2		0			2	(非装備時)	12
精神	4		0	4		8	戦闘移動	17
社会	1		0	2		3	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	4		調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：	FH	1
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンシールド	白兵	3r+1	8	2		ガード時に宣言でガード値+5、侵蝕率+1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ブーストアーマー		15		-2	【肉体】 【感覚】 【精神】 の判定ダイス+2個、メジャーアクション後侵蝕率+2

所持品	
思い出の一品	
要人への貸し	
メモリー：灘 曜介	

合計装甲： 15 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
D：秘密兵器	P	N		
	P	N		
灘 曜介	P 庇護	N 悔悟		
七清 箔	P 誠意	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
グラビティテリトリー	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	最大HP+(Lv*7)、侵蝕率基本値+4							
原初の紫：軍神の守り	1	2+1	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	カバーリングを行う、侵蝕率基本値+4							
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+LvD							
レネゲイドイーター	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+(Lv+1)D、対オーヴァードのみ							
魔人の盾	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+(Lv*10)、シーン1回							
孤独の魔眼	3	4	オート	視界		自動	-	
効果：	範囲及び範囲(選択)の対象を自身のみに変更する、シナリオLv回							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	判定を失敗させる、シナリオ1回							
アスクレピオスの杖	5	2	メジャー	視界	-	自動	-	
効果：	対象のHPをLvD+(対象の侵蝕率/10)点回復							
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果：	ダメージを-(Lv*5)点する、ラウンド1回							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

○概要
黒き者 "ヴィカローラ"の特務セル「黒き壁 "シュヴァルツ・ヴァン"」のセルリーダールを務める男。
信条は「正しい事をする」であり、曲がった事を嫌う。
また「正しい事をする」という信条から、オーヴァードの存在を隠すUGNの姿勢に怒りを覚えている。

○過去
とある日、アーダルベルトは子どもを使って非道な実験を行っていると言われる研究所を襲撃した。
結果は成功。研究所を誰1人の死者を出す事なく制圧した。
…否、そこにいた子どもたちは既に心は死んでいた。
アーダルベルトは助けられなかった自身の無力さに憤っていた。
そんな時、視界に入ってきたのは戦いは終わったにもかかわらず、震えながら守るように自身を抱き締める1人の少年、灘曜介だった。
少年は世界の全てに拒絶されたような絶望を秘めた眼をしており、アーダルベルトは"人を救える"などという事は做りでしかない、傲慢な思いであると理解しながらも、心底この子を救いたいと思った。
無力を悔いている暇はない、まだ自分の守る戦いは終わってはいなかった。
その日からアーダルベルトは守る事へ集中する為、剣を捨てた。
そこで出会ったもう一人の少年、七清箔は曜介とは違い「大きくなったら、僕が助けてあげるね。」と言っていた。
将来はきっと騎士道に生きる立派な男になるだろうと期待しながら、あの子のような子供の将来を守ることが、今の自分に残された戦いなのだと思い強くした。

○出生
騎士団長の父、優しい母、やんちゃな弟と共に家族4人で暮らしていた。
しかし、アーダルベルトが18の時、住んでいたスペインの田舎町にジャームが襲来。町は焦土と化した。